

## 1 事業報告(2024年度)

今期は「持続的な企業価値や施設価値の向上の取組みや、ESG に配慮した経営を通じて、地域社会やステークホルダーに愛される商業施設づくりを推進し、商業振興とまちづくりの発展に寄与する」との経営方針の基で施策を着実に実行してまいりました。

来たる2027年のノクティプラザ開業30周年を見据えた取組みとしては、約2億円を投じて積極的な設備投資を行い施設価値の向上を図りました。具体的には、ノクティビジョンを新機種に更新し、よりクリアな画像と音響で訴求効果を向上させたほか、1ビル入口ファサード(外観)の改装工事やLEDサインへの更新など店頭をリフレッシュしてお客様の利便性をより高めるとともに、2ビル外エスカレーターのインバータ機器交換や客用トイレ照明LED化、1ビル1階ビオトープ(庭池)のリニューアルを行い、環境に配慮した取組みを継続して行いました。その他、テナントスタッフ様用の休憩室を居心地の良い室内に改装するなど、職場環境の改善もはかりました。

地域へ貢献する取組みでは、川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダースへの継続協賛のほか、川崎市市制100周年記念事業実行委員会への参画や、広報事業のゴールドメディアパートナーとして記念事業の推進に協力しました。また、川崎市公債「グリーンボンド」を購入し川崎市の環境施策に貢献しました。その他、市民コンサート、キラリデッキイルミネーションなどのイベントを地域団体や行政と一体となって実施したほか、2ビル屋上を近隣の保育園に利用いただき、地域の保育環境の充実に寄与しました。

これらの取組みに加え、マルイ・テナント・地元との共催イベントやポイントカードからアプリへの移行、ポイント20倍デーなどの販促効果により、来店されたお客様の数は2072万人で前年比100%、テナント売上高は1ビル4階フロア改装に伴い75億7百万円と前年比98%でした。当社の売上高は22億85百万円と前年比6百万円の増収となりましたが、当期純利益については積極的な設備投資のほか、エネルギー価格の高止まり等の物価高騰などが影響し18百万円の赤字となり、増収減益となりました。

当社は、1995年の会社設立以来、再開発事業の成果を継承・発展させることを目的にノクティの管理・運営及びテナント誘致や集客・販売事業施策を通じて、安定的・持続的な成長を目指した経営活動に取り組み、地域社会やステークホルダーに愛される商業施設を目指してまいりました。2025年度以降につきましても、2年後のノクティプラザ開業30周年を見据え、設備投資の着実な実施など持続的な企業価値や施設価値向上の取組みを通じて、お客様・地域社会・ステークホルダーの皆様に貢献してまいります。

## 2 決算状況(2024年度)

### (1) 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	
流動資産	1,653,898
固定資産	2,304,820
(有形固定資産)	427,480
(無形固定資産)	18,306
(投資その他資産)	1,859,033
資産合計	3,958,718
負債の部	
流動負債	536,633
固定負債	2,017,737
負債合計	2,554,371
純資産の部	
株主資本	1,404,347
(資本金)	300,000
(剰余金)	1,105,347
(自己株式)	△1,000
純資産合計	1,404,347
負債及び純資産合計	3,958,718

### (2) 損益計算書

(単位:千円)

科目	金額
売上高	2,285,930
売上原価	2,176,063
売上総利益	109,866
販売費及び一般管理費	132,864
営業利益	△22,997
営業外収益	9,864
営業外費用	3,062
経常利益	△16,195
当期純利益	△18,504